

## 【分類・用語について】

本書ではLCD搭載の電子機器を下表のとおり分類し編纂を行った。

本書におけるLCD搭載電子機器の分類

本書で使用した電子機器の名称	左欄の定義またはこれに含まれる電子機器
ノートPC	ノートPC、サブノートPC、ミニノートPC、ネットブック
デスクトップ液晶モニタ	PC/WS用モニタ、PC一体型モニタ
携帯情報端末	ペン入力PC、パームトップPC、PDA、電子手帳
大型（10型以上）液晶TV	10型以上の大型液晶TV
カーナビ	カーナビゲーションシステム、パーソナルナビゲーションデバイス（PND）
液晶プロジェクションシステム	前面投射型液晶プロジェクタ、背面投射型液晶プロジェクションTV
液晶モニタ付きビデオカメラ	液晶モニタ付きビデオカメラ（アナログ/デジタル方式含む）
ビューファインダ付きビデオカメラ	ビューファインダ付きビデオカメラ（デジタルスチルカメラなども含む）
液晶モニタ付きデジタルスチルカメラ	液晶モニタ付きデジタルスチルカメラ
ゲーム機	携帯用ゲーム機器
パチンコ/パチスロ	パチンコ機、パチスロ機
携帯電話（メインディスプレイ）	携帯電話/スマートフォンのメインディスプレイ
携帯電話（サブディスプレイ）	携帯電話/スマートフォンのサブディスプレイ
電卓	電子卓上計算機、ポケット電卓、カード式電卓
ウォッチ	腕時計
その他の電子機器	中小型（10型未満）液晶TV、ラジカセ、CD/MDラジカセ、ステレオ、ヘッドホンステレオ、携帯用CD/MDプレーヤ、VTR、DVD、携帯用DVDプレーヤ、各種リモコン、ワープロ、FAX、OHP、ハンディターミナル、プリンタ、エアコン、扇風機、ジャー炊飯器、電子レンジ、電器調理機器、計測器、FA機器、CD・ATM装置、POSシステム、ヘッドマウントディスプレイ（HMD）、デジタルフォトフレーム（DPF）、パブリックディスプレイ、その他

本書ではLCDパネルを下表のとおり分類し編纂を行った。第1編の市場動向、生産動向において、強誘電性LCD（FLCD）、コレステリックLCD（Ch-LCD）はSTN-LCDとして集計した。第1編第2章の用途別市場動向において、ノートPC用に関しては、低温Poly-Si TFT-LCDをTFT-LCDに含めて集計した。本書の中で特にモノクロ、カラーの区別がない場合は両方を含む意味とした。

## 本書におけるLCDパネルの分類

大分類	中分類	小分類
Passive LCD	TN-LCD	モノクロTN-LCD カラーTN-LCD
	STN-LCD	モノクロSTN-LCD カラーSTN-LCD
	その他	強誘電性LCD（FLCD） コレステリックLCD（Ch-LCD）
Active LCD	TFD-LCD	モノクロTFD-LCD カラーTFD-LCD
	TFT-LCD	モノクロTFT-LCD カラーTFT-LCD
	低温Poly-Si TFT-LCD （CGS TFT-LCDも含む）	モノクロ低温Poly-Si TFT-LCD（CGS TFT-LCDも含む） カラー低温Poly-Si TFT-LCD（CGS TFT-LCDも含む）
	高温Poly-Si TFT-LCD	モノクロ高温Poly-Si TFT-LCD カラー高温Poly-Si TFT-LCD
	その他	LCOS

## 序章 本書の利用にあたって

本書では、LCD部材を以下のように分類し、編纂を行った。それぞれの部材に対して、第3～8編の第1～2章の地域別・用途別市場動向では、STN用、TFT用が市場の大半を占めるようになったため、この2種を取り上げた。低温Poly-Si TFT用、高温Poly-Si TFT用は、それぞれTFT用に含めた。

また、下表に、第3～8編の各部材の製品の対象範囲を示す。第3～8編第3章の企業動向で、第2節以降のメーカー別については、下表の対象範囲外のものも含まれることがある。

### 本書におけるLCD部材の分類

分類	用途別	対象範囲
カラーフィルタ	STN用、TFT用（低温Poly-Si TFT用、高温Poly-Si TFT用を含む）	関連材料（顔料、ブラックマトリクス、柱スペーサなど）単独分は含まない
ガラス基板	STN用、TFT用（低温Poly-Si TFT用を含む）	素板ベース。研磨・切断、ITO成膜加工などの加工まで施した最終製品分も一部含む。同加工のみの分は含まない
偏光板	STN用、TFT用（低温Poly-Si TFT用、高温Poly-Si TFT用を含む）	位相差フィルム、広視野角フィルム、反射防止フィルム、輝度向上フィルムなどの単独販売分は含まない
液晶材料	STN用、TFT用（低温Poly-Si TFT用、高温Poly-Si TFT用を含む）	原材料の混合を行った最終製品ベース
ドライバIC	STN用、TFT用	LCDパネル/モジュール向けTAB、COG、COB、COF実装品とする
バックライト	大型（10型以上）、中小型	ユニットベース。LED光源、冷陰極管、インバータ、輝度向上フィルム、拡散フィルムなどの単独販売分は含まない

## 【主要通貨の換算レート】

主要通貨の換算レートは下表のとおりとした。

主要通貨の対ドル換算レート

	2004年	2005年	2006年	2007年	2008年	2009年以降
円	108.3	110.2	116.4	117.8	103.5	95.0
ユーロ	0.79	0.76	0.83	0.73	0.72	0.75
ポンド	0.54	0.53	0.57	0.49	0.59	0.68
ドイツマルク						
フランスフラン						
ギルダー						
ウォン	1,160.5	1,008.4	967.4	919.2	1,154.2	1,365.7
台湾ドル	33.10	31.32	32.22	32.80	32.28	33.60

## 【数値・データの算出法および表記について】

第1編のLCDパネルの市場動向はLCD搭載の電子機器の生産数量を割り出し、推定単価を乗じて得た数値を集計したものである。LCD生産動向は主要メーカーの生産額をベースに、製品別、生産拠点別の生産額を割り出し、各企業の会計年度ごとの業績を歴年に換算するなどの作業を行った後、市場規模との擦り合わせを行い算出した数値を集計したものである。

第2編の各社の業績はアンケート調査、担当者へのヒアリングをベースにまとめたものである。数値の右肩に\*印の付いているものは当社の推定値。\*印のないものは各社の発表値である。

第3～8編の第1～2章の地域別市場動向、用途別市場動向では、各LCD部材の販売数量を割り出し、推定単価を乗じて得た数値を集計したものである。

第3～8編の第3章の各社の業績はアンケート調査、担当者へのヒアリングをベースにまとめたものである。数値の右肩に\*印の付いているものは当社の推定値。\*印のないものは各社の発表値である。

本書の中の数値・データで、出所を明記していないものは、すべて当社の独自調査により知り得たデータあるいは独自調査に基づく推定値である。

## 【参考文献リスト】

本書の編纂にあたり下記のものを参考文献として使用した。

### 参考文献

経済産業省・機械統計（経済産業省）  
財務省・貿易統計（財務省）  
経済社会総合研究所・機械受注統計（内閣府）  
AV7品目世界需要予測（電子情報技術産業協会）  
東南アジア電子工業の動向調査団報告書（電子情報技術産業協会）  
電子ディスプレイ産業の中期ビジョンに関する調査研究報告書（電子情報技術産業協会）  
衛星測位システム利用技術に関する調査研究報告書（電子情報技術産業協会）  
海外法人リスト（電子情報技術産業協会）  
移動電話世界需要予測（電子情報技術産業協会）  
電子工業の長期展望（電子情報技術産業協会）  
パソコン白書（電子情報技術産業協会）  
周辺端末装置に関する市場調査報告書（電子情報技術産業協会）  
CESAゲーム白書（コンピュータエンターテインメント協会）  
日本経済新聞（日本経済新聞社）  
日経産業新聞（日本経済新聞社）  
日刊工業新聞（日刊工業新聞社）  
半導体産業新聞（産業タイムズ社）  
液晶メーカー計画総覧（産業タイムズ社）  
会社四季報（東洋経済新報社）  
外資系企業総覧（東洋経済新報社）  
帝国データバンク会社年鑑（帝国データバンク）  
外国会社年鑑（日本経済新聞社）  
世界年鑑（共同通信社）  
日経エレクトロニクス（日経BP社）  
日経マイクロデバイス（日経BP社）  
ファインプロセステクノロジージャパンセミナー要録（リード エグジビション ジャパン）  
ディスプレイサーチフォーラム講演資料全集（DisplaySearch）  
PC・WS出荷台数資料（IDC）  
Foreign Trade by Commodities（OECD）  
U.S. Industrial Outlook（U.S. Department of Commerce）  
Survey of Current Business（U.S. Department of Commerce）  
U.S. Foreign Trade Highlights（U.S. Department of Commerce）  
電子・電気工業統計（韓国電子工業振興会）

参考文献

Electronic Business Asia ( Electronic Industries Association )

Electronics Weekly ( A Reed Business Publication )

## 序章 本書の利用にあたって